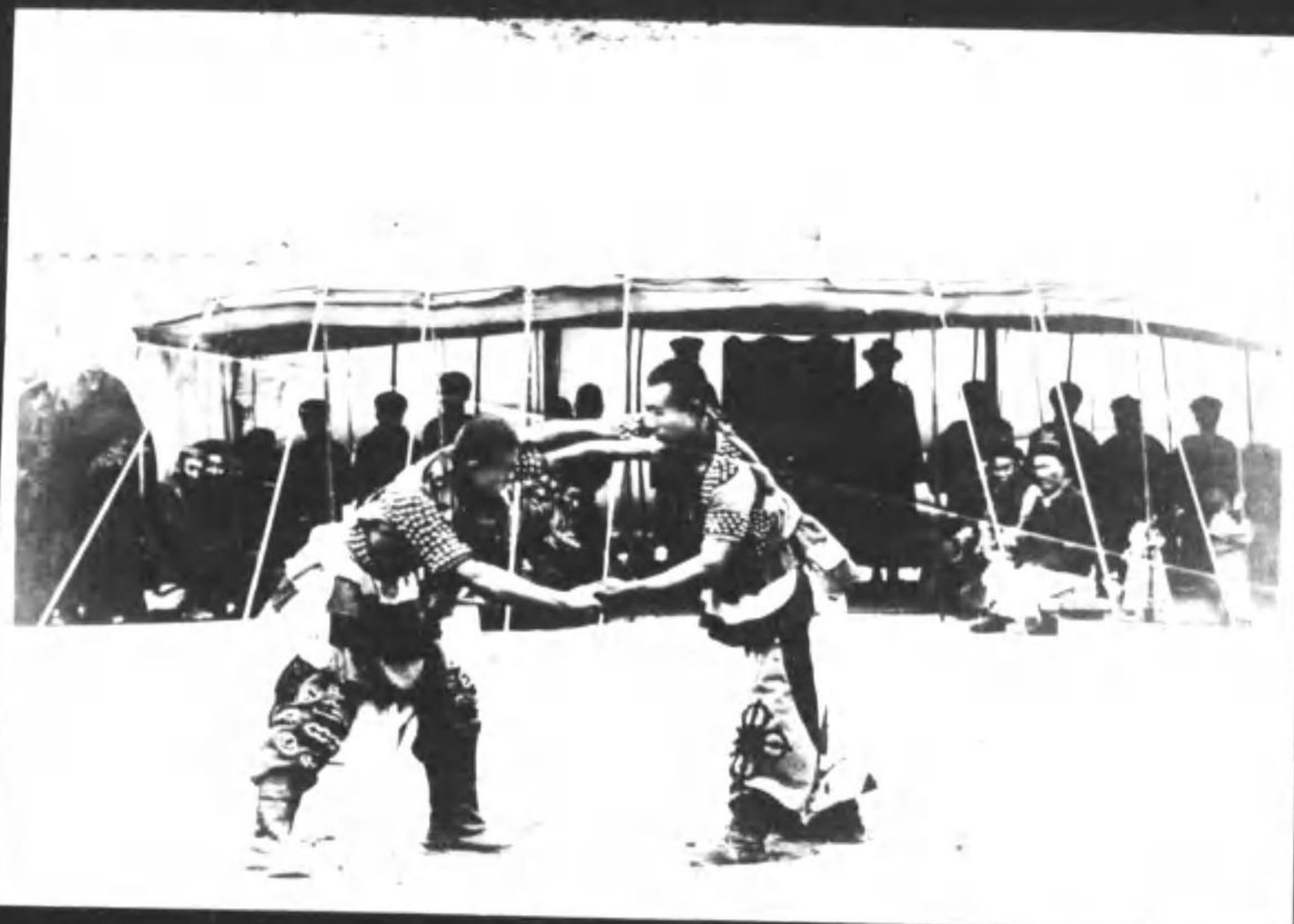


1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4



### 蒙古青年の角力

國風會副會長 江藤 哲二 記述

蒙古は昔て英傑成吉思汗を出し、亞歐を蹂躪したほどの偉大な種族であつたが、今では最早や水草を追うて轉住する遊牧民で愚昧頑固、不潔大食の人民と化して、人口も減少するのみである。

然し、その昔にあつた偉大な種族は幾らか残つてゐて、角力、馬術の競争、闘牛とかいふ競技は、彼等の祭典などに盛んに行はれる。

本國は外蒙古の「都魯會」に於ける青年の角力にして、闘士も観客も皆な盛裝してゐる。そしてその後方に見ゆるは、煉瓦造りのラマ教の寺院である。

建物は都會に於ける寺院官衙及び商店等の代表的建築物の外は實に僅少見るに足らず、それもまだ良い方で、さういふ永住的家族を持つものは、その地方の富豪に過ぎない、中には西北利亞に於ける、キリヤリアオロチオン族の如く天幕生活をなして居るものもある。

彼等の飲食物は可なり贅澤なもので、その多飲大食は驚くべきものがある。一日間に大碗十盃より十五盃を喫するのは普通處女の食量で、少壯男子は之れに二倍の分量をとる。

その飲物は煎茶であつて、その茶の用法は先づ煎茶を削り、再び粉碎して鍋中の沸湯に投じこれに牛乳食鹽等を混する。これを一層美味にするには、更に黃油を和して客に供する。

食物に於ては羊肉を嗜好し、羊肉は皮骨を除いては殆んど食はざる部分はない。すべて蒙古人は獸肉を食ひ、羊酪を飲むこと頗る多量なるは實に驚くほどで、一餐に數斤の肉を食するは平常にして、その多量の大なるものに至つては、一晝夜に羊一匹の片身を「ペロリ」さやるものがある。

まして、その祭日とか、事のある日には焼酒さか、美食を多量に用ひることいふまでもない。

蒙古は沙漠があつて、不毛の地が多いに相違ないが、何分日本の五六倍もあつて、その人口は極めて少いから、自然と生活に餘裕がある。で日本人は大いに此處に移住して、この富城を開拓すべきだ。

禁複製轉載

外務省 編纂



### クワラ・ランボル市に於ける

#### マホメツト教會

國風會副會長 江藤智二述

馬來保護國は、馬來半島の大部を占め、北方は山脈を以て緬甸及び暹羅に連り、その南端は赤道を去ること僅かに三十七里に過ぎない。半島は一體に地勢低平にして大山なく、大河なく、只だ丘陵の中央に起伏するばかりである。

馬來保護國は四つに別れ、ペラ、セラノゴル、ネグリ・セムピラン、マハンとなつてゐる。各邦にワザと稱する君主を頂いてゐたが、西曆一八九六年、英國と保護條約を締結して以來は、新嘉坡駐在英國知事の支配の下に屬することになった。

その面積は四、三九六方里、人口は六七九、〇〇〇人。その中、馬來人三一二、四八六人、印度人五八、二一一人、歐米人二、〇〇〇人、支那人二九九、七三九人、日本人五〇〇人。

氣候炎熱で、植物よく生育し、産物には珈琲、胡椒、甘蔗、米、木材等を産し、殊に馬來半島に於ては、ゴム及び椰子の栽培が最も有望な國産である。

錫山に於ても、錫は世界一の産出にて、その輸出税は、本國輸入の大部分を占め、その輸出高は毎年五萬一千噸を下らぬといはれてゐる。

本國はセラノゴルの首都クワラ・ランボル市に於けるマホメツト教會であるが、その規模の廣大にして、その建築の壯麗なること、露西亞のローマン・カソリック都會の如く、實に堂々たるものがある。

之れは、實にマホメツト教會に屬する信徒が如何に多きかを示すものであつて、マホメツト教の世界三大宗教の一つであることを示して尙ほ餘りあることである。

英國が、この地を占領しつゝ、その宗教の自由を許して居る點は、如何にその植民政策の卓絶せるかを説するに足るのである。

このクワラ・ランボル市は將來益々發展すべく、日本人も此地にあるもの千を以て數へることが出来る。しかも支那への三十萬に較ぶれば、全く天地霄壤も尙ならずだ。

禁複製轉載

日本郵船會社藏版



### マルコ・ポーロの像

國風會記者 小形青村說明

廣東華林一寺に五百羅漢が安置してある。その中の一つが之のマルコ・ポーロの像である。マルコ・ポーロは七百年前、支那に來り元朝に仕へた人である。彼の見聞録は非常に有名なもので、コロンパスが亞米利加大陸の發見に刺戟を興へたものだ。殊にロバング（日本）と稱する金銀に富める國へ來やうとして、彼は船を出したのである。

今、マルコ・ポーロの東方見聞録中、日本に關する記事を抄録すれば左の如くである。

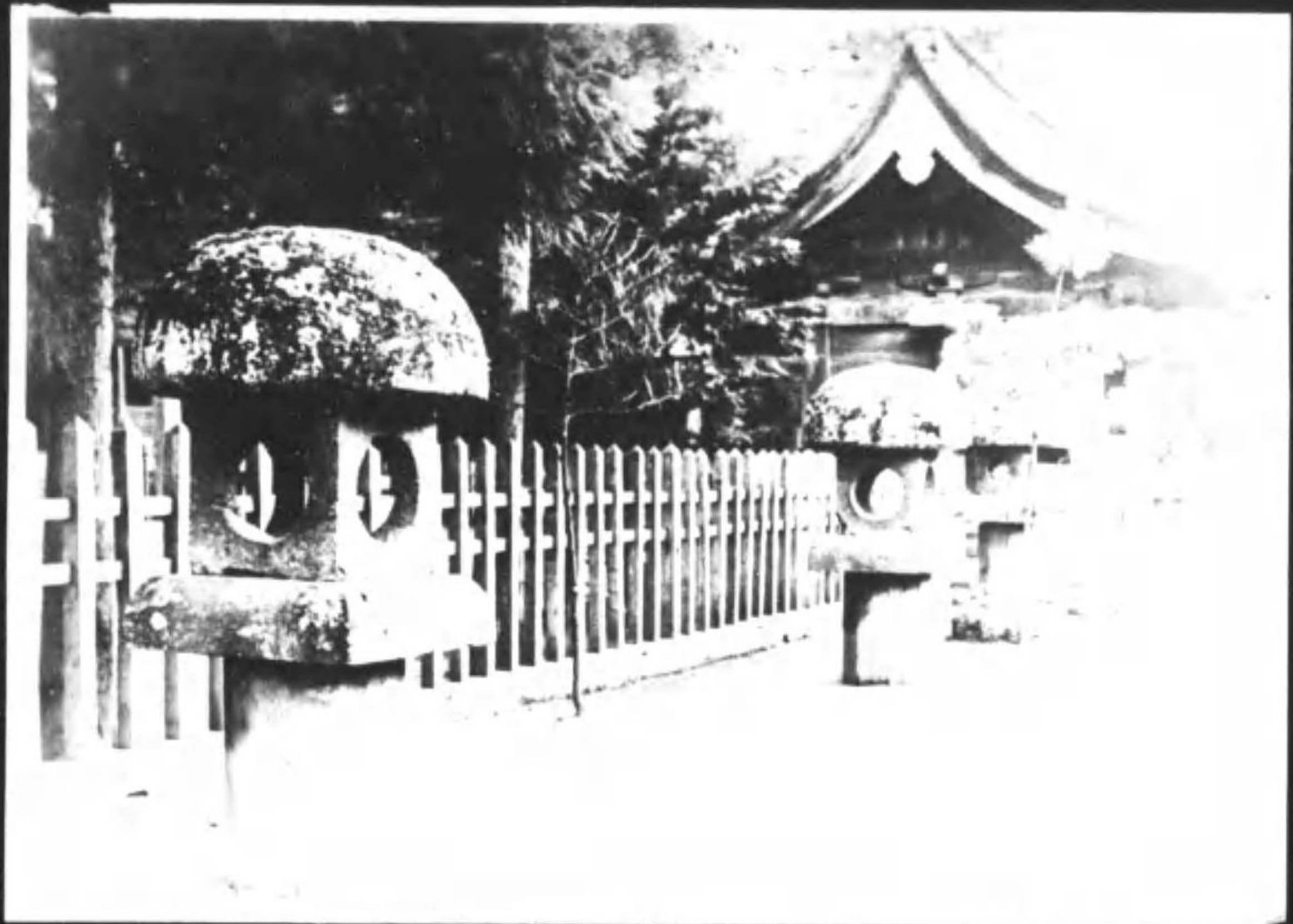
「日本は大洋の東方に在る一の島國にして、大陸を去る一千五百里、其地廣く、其民體白く、開明の度に進み、且つ天恵に富めり。其宗教は偶像崇拜にして獨立せる政體を有し、曾て外國の統治を受けし事なく、此國非常に金に富み、殆んど無盡なりといふ。之れ蓋し一方には國王が其輸出を嚴禁せりと、他方には此の地大陸を去ること頗る遠く、外商の來る者稀なるが故なり。此の國に至りて人目を驚かしむるものは、王宮の廣大にして而かも華麗を極めたるにあり、即ち王宮の屋宇は西洋諸國の寺院が鉛板を以て掩はれたるが如く精真なる金板を以て作られ、其床も亦た金板を以て敷詰め、其窓にも金を用ふる所ありて其結構の美にして、其の價額の莫大なることは吾人の想像の及ぶところにあらず云々」

マルコ・ポーロが支那に入らんとして、先づこの廣東に上陸したもので、巷間の著書に於て、ポーロの像と稱せらるゝものは皆な此水像より寫したものである。

彼は、一二九一年、支那より歐洲へ歸航の途次、スマトラ附近に漂泊し、一島にジアバ、他島に小ジアバの名を附した事が歴史に残つてゐる。ジアバの名が彼の命じたものなることは事實で、歐洲人が支那及び日本其他馬來半島の存在を知つたのは主として彼の紹介にあることは疑ふべくもない。

禁複製轉載

外務省 藏版



### 岩戸神社

國風會副會長 江藤智二述

日向國は由來史蹟名邑に乏しくない。中にも五箇瀬川の沿岸、高千穂町の近郊には随分淨山ある。この岩戸神社もその一つあつて、高千穂町の手前約四軒のところに、五箇瀬川の上流岩戸村にある。

社は天照大神を祀り、神代史にいふ大神の隠れませし「天の岩戸」はこゝであるを傳へられて居る。

高千穂町は山險に圍まれ、僅かに五箇瀬川の淺流が日向に向つて走る所、山中の一大聚落である。附近は石器時代の遺蹟に富み、高千穂の史蹟に就いてはまだ定説を見ないが、天孫降臨の傳説を託せる一名跡たるには相違ない。

日向國南部珂郡鶴戸村宮の浦海中に突出する一つの山がある、これを鶴戸山といひ、山勢奇峭にして老樹鬱蒼たりて、海岸は峻巖起伏し、怒濤相拍つて激し、碎けて雪となり、叫びて雷となる、その東南岸に靈窟がある、名づけて鶴戸の窟といつてゐる。洞口東南に面し、東西二十一間、南北十一間、高さ一丈八尺ある。實に彦波瀲武鸕鷀草葺不合尊の降臨あらせ給へるところ、その中に鶴戸神宮がある。官幣大社で、三社六柱の神を祀り、その中殿は即ち鸕鷀草葺不合尊である。

高千穂山の東嶽より東北の山下に狭野と稱する所がある。地方の人は宮の宇都又は権現が宇都といふ。その邊は一帶曠野にして、中に四反四方ばかりの一段小高き所があり、相傳へて神武天皇の皇居跡なりと傳へこの中四反ばかりの中に二間四方ほどの石がある。高さ三尺ばかり、高千穂山上屢々噴火し、このあたりの岩石皆な焦けて變色したが、獨りこの石は毫もその色を變へないので、之れを神武天皇降臨の址と稱し、神幣を建て、標とし、敢て牛馬を繫がない。

かういふ風に、神代の遺蹟があるところを見ると天の岩戸が此地にあつたといふことも首肯されることである。その地高燥、老杉森々として神代の往昔を偲ぶに足るものがある。

禁複製轉載

鐵道省 藏版



ボルネオ島動物教神前の舞女

國風會副會長 江 藤 哲 二 述

ボルネオ島は此律實群島の南、西北は南支那海に臨み、東はマカッサル海峡によりてセレベス島に對し、南はスンダ海峡を隔て、ジャバ島と相望む。南北約七百八十哩、東西約六百八十七哩、面積二八七、九三七方哩、世界第三の大島であるが、その海岸線の延長三、六一一哩に過ぎず、以て港灣半島に富まれてゐないことが解る。

山脈は島の中央部より放射状を爲して射出し、東北部にキナバル山、海抜三、六〇〇米乃至四、一〇〇米あるのみ、河流は中央山地に發源して四方に流れ、何れも舟楫の利ありて中流以下は流勢寛やかに、河岸に池多く、河口にはマンダローフが繁茂してゐる。

河畔の平地には農産として米、珈琲、甘藷、綿、烟草を産するが未だ盛んといふほどではない。山脈には檳榔樹木薯等として、椰子樹、檳榔樹、竹、蔴、マンダローフ、セゴノキ等の熱帯植物に富んでゐる。

動物には猛々、象、犀、ギホン、熊、虎、等且つ燕窩も名産である。礦物は石炭、金剛石を重なるものとするが、要するに人口稀薄で、未だその方面に手が廻らない。

金剛石は本島の名産にして、カプアス河、パイト河の下流地方の花崗岩中に含有されてゐる。

住民は幾多の種族を含んでゐるが、その重なるものは、インドネシア派の、ダヤック族であるが、この種族は沿海地を除き全島に住んでゐる。この他馬來人約四十萬、ブギ族、パワラ族、支那人、ブスン族、ビサヤ族等で全體で百八十萬ほどある。

本圖は本島に於て盛んに信ぜらるゝ動物教の神前で、舞踏を捧げて神靈を祀る處女たちであるが、この動物教といふのは動物崇拜の教へで、獅子とか虎さか、或は大蛇などに敬愛の誠を捧げるものである。従つてその神前に於て彼等の捧げる舞踏は、實に大膽にして壯烈、痛快を極めてゐる。

圖に示す人體獅子頭の像は彼等の禮拜する偶像の一種である。この肢體のよく發達した美人が宗教的熱意を以て神前に高踏亂舞する俤は蓋し想像するに餘からずだ。

禁復寫轉載

日本郵船會社 出版



### 近代市ロツテルダム

國風會副會長 江 藤 晋 二 述

ロツテルダムは、近代オランダの生活の燃えてゐる經濟上、貿易上の重要港市である。人口も六十六萬餘あつて、オランダ第一の海外貿易港、その規模はオオロツバ大陸第一といはれるもので、世界大戦中には中立國といふ地位にめぐまれて、貿易をリードしたが、今はハムブルヒに譲つた形である。それでも入港船舶は一年約一萬二千隻、一日平均三十三隻であるといふ。

イギリス、ドイツ、東洋、北米、アフリカ等への航路の重要な基點で、たとひオランダの海上覇權時代は去つたとて、オランダ船の航前が出入りした昔の夢は今もロツテルダム埠頭のマドロスに見られる。和蘭は人も知る通り、オオロツバ西部の一小低平國で、東は獨逸、南は白耳義に接し、北と西とは北海を控へて、面積は一六四八方哩だから、我が九州よりも小さな國である。だが、その領地は面積約七十八萬三千方哩で、即ち全計七十九萬五千六百四十八方哩に上る譯だ。

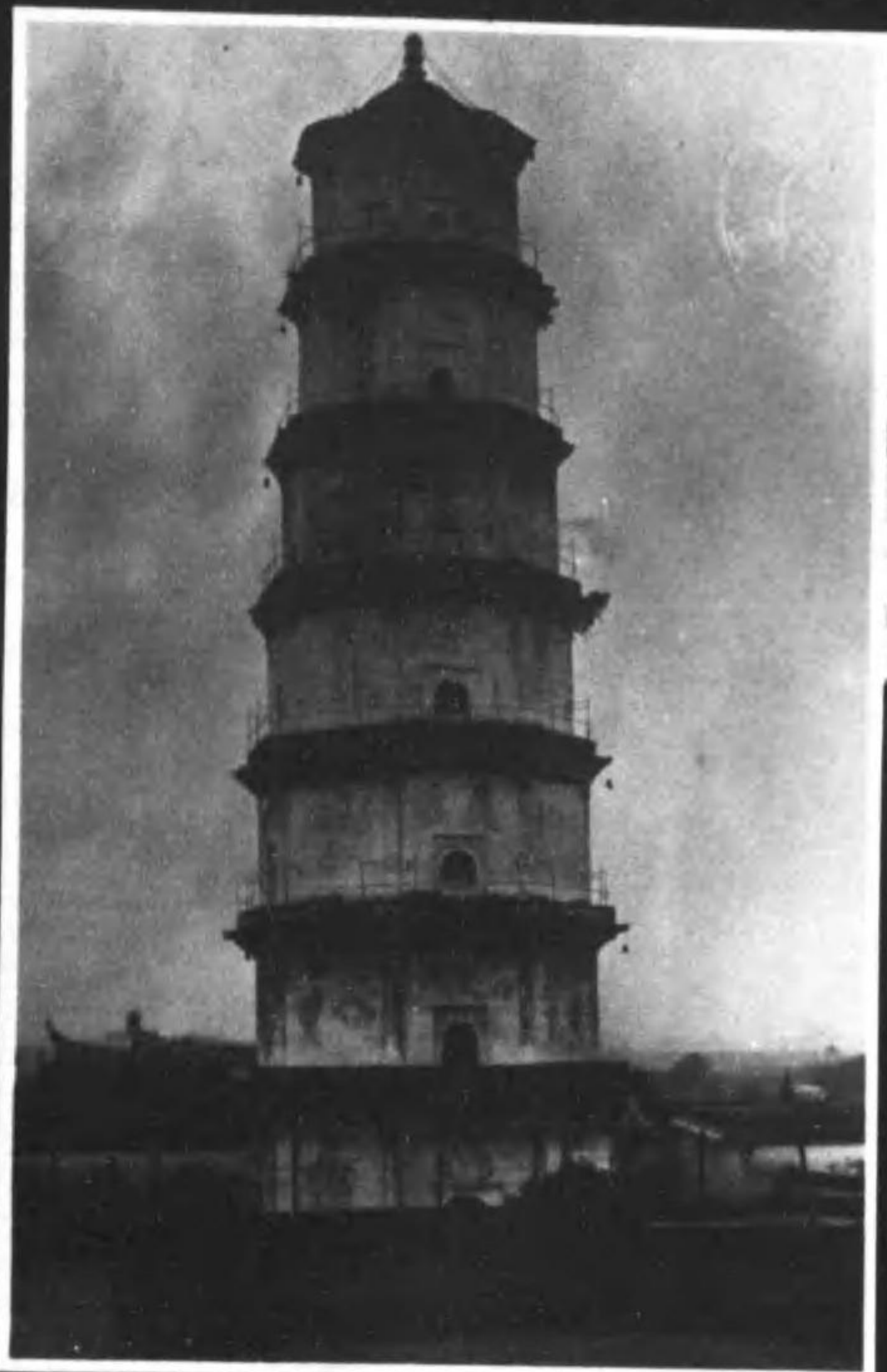
和蘭の地勢は、一般に平坦にして、極めて遅緩なる勾配を以て西及び北に向ひて傾斜し、その最高點といへども海拔二百四十米に過ぎないのであるから、その大部分は海面以下に位する。即ちホルランド(窪地)或はネーザラント(低地)の名稱に背かないわけである。

だから、このロツテルダムは市街といふよりもライン河の分岐せるマース河と、その河中島とを擁してそこに生成せる水上都市であるといつてよい。で、ロツテルダムの景観は、市街見物よりもむしろ河上をベルギーに向つて走る鐵道の上、汽車の窓から見おろす大觀に盡きる。停車場を出でて、洗濯物のひるがへる四層、五層の裏長屋を見たかと思ふ間もなく、天空に架した大鐵橋となる。

そして見おろす流れの上下には兩岸に埠頭が連り、大小の船舶がかり、大工場の煙突より吐く黒煙は水を籠め、天を暗くして、やはりオランダはゆたかな朗かな國だと思はせる。

禁 複 製 轉 載

外 務 省 藏 版



### 古色蒼然、福州城内の白塔

國風會副會長 江 藤 哲 二 述

福建省は支那沿海六省の一にして、海岸は出入多く、良港少くない。西には仙霞嶺山脈横まり、北には梅嶺あつて、省内には山岳多く平地少く、唯だ閩江の流域は主要なる生産地である。

面積四萬六千三百二十方哩、人口二千五百萬、一方哩五百五人、その稠密なることは河南省に次ぎ、支那第二である。我が臺灣とは一帯帯水、臺灣海峡によりて相對するを以て、商業上、軍事上最も關係深く、それで此省は特に他國に不割讓を約してある。

本省の主府福州は閩江の流れに臨み、海上より三十四哩を距て、居る。人口八十萬、その貿易額は二千八百萬兩、内輸入一千五百萬兩、輸出一千三百萬兩で、就中最も重要なものは茶である。

然るに歐洲市場に於けるセイロン茶の競争の結果福州の茶の輸出は漸次減少しつゝある。輸入は多く上海香港を經由するもので、綿製シーツ、綿布、石油、燐寸等は主要なるものである。

福州は周の七閩地、唐の長樂府、明の初め福州府と爲し、現今も尙ほ之れを用ひ、茶の産地として古來有名である。一八四二年南京條約によつて開港されたものである。

市街は清潔にして、内街と南街とに別れてゐる。居留地は南門外にあり、南臺は閩江の右岸にある。閩江の中央には、架するに二箇の石橋を以てし、江南橋、萬壽橋といふ。長さ百四十丈、風光極めて明麗である。

しかし福州の市街は、道路が狹隘で、且つ平坦でない爲め、始んと車の使用を妨ぐる程である。且つ居留外人は大抵高臺の方面に居住するので、市内の交通には多く輜輳を以てする。

市の外廓には東、南、北の三つの隅に各々丘陵がある。烏石山は市の南隅にあり、凌雲臺がある。九月九日の觀月を以て有名である。

本國は、福州城内白塔寺の境内にある白塔であつて、約一千年前の創立に係り、古色蒼然として、その建築様式の卓絶たる實に驚嘆に値する。



### 名をのみ残す平和宮

國風會編輯 小形 青 村 述

和蘭の人口は八百萬に足りず、それも四つの大都市に集中してゐるので、見渡すところ國風廣義として、のどかに草喰む牛のがなたに風車がしづかに廻り、教會の尖塔が夢のやうにうかむ——どこもかしこも平和なシルエツトが展開してゐる。まことに和蘭は詩の國、夢の國、西洋の小樂園である。

さうした平和の樂園を頭に描くとき、和蘭の中心點に、ヒツカリ輝いてゐるのはハーグの平和宮であらねばならぬ。あの歐洲大戰のすさまじい慘劇のまつたゞ中で、お隣のパルギーがまつ先に血祭にあげられたにもかゝらず、平和のオランダだけは、厳正中立の旗じるしを御さずにしまつた。國際的地位の關係もさることながら、やはり平和宮のいつかれた、この國だけはある。

平和宮は、歐洲列國の勢力が暴走して、何となく種かでなかつた、一八九九年に、ロシア皇帝ニコラス二世の提唱にもとづき開會された、萬國平和會議にひきつゞき、一九〇七年にその第二回が開かれた年、同じく平和を愛する米國の富豪アントリユース・カーネギーの財團が寄附した百二十萬ドルを基金として、建築家コルドニールの設計によつて起工されたもの。

そして、こゝで第三回の平和會議が開かれて、世界永遠の親睦の手打ちをせらるべかりしもの、皮肉にもいよいよ竣工した一九一三年には、ヨーロッパは戦争の慘禍のたゞ中であつて鼎の沸くやうな大騒ぎ。そして平和宮の鐵骨を寄附したドイツのカイザーの手で、平和の扉が閉ざされてしまつた。

やつと大戰後に至つて、常設國際仲裁裁判所として用ひられたものの、平和を議する中心は、移つてスワイイスの山中に去つた。それのみならず、ニコラスは死んだ、カイザーは隠れた。

そして永久の沈黙を守つて、平和の國の平和の宮殿は、今も白くかがやくアサイドに、朗らかな陽光を反映しつゝある。こゝを訪れて階上の正面大廣間に入ると、日本から贈つた西陣織の大縮繪が、異彩を放つてゐるのも、ほゞ笑ましい一つである。

禁複製轉載

外務省藏版





### 和蘭風俗サボイの本場

國風會副會長 江 藤 哲 二 述

アムステルダムはオランダ第一の首府である。人口七十五萬、ロツテルダムの對外貿易港たるに對し、こゝは主として本國と東インド領間の貿易の中心市場で、船は運河によつて外洋に出る。また飛行機の發着地としても重要であるし、大陸におけるパリに次ぐ金融市場としても要地を占め、その取引所は古くから知られてゐる。

しかし一般的にアムステルダムの名物は、ダイヤモンド工場と、その博物館とである。けれどオランダは元植民地に南阿を領し、そのダイヤモンドを採掘して、こゝでカットングしたからで、今日もダイヤモンド取引はこゝが本場で、工場数も多く、熟練職工の優秀なことは他に類がない。

アムステルダムから西北へ汽車で十五分ばかりのところにザインダムがある。こゝは製材、造船の中心であるが、思ひ出は一六九七年、ロシヤ皇帝ピーターが皇太子の時、來つて自らハムマーを握り、造船の技術を習得した物語の上であり、その工場は今も保存されて、帝政ロシヤの所有に屬してゐたさうだが、今はどうだか？

又ザインダムの西にはアイマイテンとよぶ、北海最大の漁港があつて、一年の漁獲高一千五百萬圓、その四分の三を外國へ輸出するといふ。

またアムステルダムの東北、ゾイデル海上に浮ぶマルケン島は、その島民が古風の服装をなし、サボイを穿いてゐるので、對岸のフオレンダムと共に一種の風俗史蹟として訪ふ人が多い。

サボイは國に見るやうにガサツな木靴であるが、サボターゲユ（意業）の語原はこれから來てゐる。なるほど之れを穿いては、あまり機敏な行動はとれぬに相違ない。

なほ、ウトレヒトの東へ自動車で約六十分の小村ドレンは、一項のアメロンゲンと共に、カイセルの配所として物好きの訪ふところで、現代のナボレオンを以て自信したカイセルの老後の夢やいかん？ 冬季落葉の折、柵外から道行く人にカイセルの散歩姿を見ることがあるといふ。

禁複製轉載

外務省藏版



### 和蘭の樂土サンドフォルト

國風會副會長 江藤哲二述

概してオランダのおもむきは田園とか都市とかよりも、同じ市街でもその古びた味——囃みしめれば囃みしめるほど、津々として盡きざる香味のゆかしい古雅さにある。その點で代表的な都會はまづライデンであらう。

ハーグから東北へ電車で約三十分、ちやうどハーレム・アムステルダムへの途中にある。人口は七萬ばかりだが、實に物しづかな、落ちついた町で、さすがはハイデルベルヒなどと共に、ヨロツバの大學都市として知られるだけに、何となく上品な気分がたゞよつてゐる。何しろこの大學は、三百五十餘年前（一五七三年頃）スвейンから侵略された時に、その市民がよくこれを擊退したので、時のオランダ沈黙王ウイイルヘルムが、その功として市民に何を賞賜しようかと詰つたのに対し、市民は大學を希望したので、つひにこゝに出來たのがライデン大學であるといふ。

されば、この大學はたゞライデンの誇りであるのみならず、オランダの誇りとして世界に知られてゐる。けれども、和蘭の誘惑は市街よりも寧ろその近郊にある。例へば別荘地ワセナールの如き、本圖に示したサンド・フォルトの如き、文字通りに白砂青松、繪のやうなところに、赤い屋根のヴィラが點々と散在し、あの色の豊かな薔をひきすつた男の兒、女の兒づれのむつみ遊ぶさまは、まづたく中世的景観である。

かゝるゆかしい別荘地こそモダン・オランダ人のための享樂地である。さいつて、モンテ・カルロなどのやうに爛れた別天地ではなく、もつと清楚な、北海の岸らしい海水浴場である。

白い砂が見はるかす限りにつゞいたあたりに、設備の整つた大旅館が、紺碧の水に向つてならんでゐる。プロムナードの長い橋があり、そのかなたにはカジノも設けてある。夏になると、岸の砂濱には、賑やかにテントが張られ、赤白のパラソルが立ち、老いも若きも水に戯れさむ。實に平和の樂土である。

禁複製轉載

外務省藏版



### 南支の美果荔枝ひさぐ女

國風會副會長 江 藤 晋 二 述

荔枝は南國の美果にして、唐の揚貴妃は日々之れを得んと欲して、人民その遺運に苦しみ、安祿山の亂を助けたといはれてゐる。荔枝の本場は何といつても荔枝灣に如くはない。荔枝灣は珠江の支流より分流したる溝渠に添て、沙面より三四哩の地にある。行く行く千百の大船小船の間を縫うて進むのだが、他の國に於ては舟子は物を運ば人が爲めに舟を漕ぐも、事終れば、家に歸るといへども、廣東附近では然らず、舟子皆な舟中に生れて舟中に生活し、而して舟中に死し、舟を以て青山とし、終生陸上家居の快樂を知らぬといふ有様である。

陸上の人は之れを鼻んで、舟子と通婚することを嫌つてゐるのだが、かうした舟子の数は凡そ三十萬人に達する。で、廣東に於ては殆んど海を見るといふ事は出来ず、舟を見るだけである。

従来、風流の種として知られてゐた廣東の花船の如きも、この間に生じた産物にして、船といふも實は河上の家といふに過ぎない。

この花船といふも、近年の炬火に燒けて、今は唯だ一二の花船と紫綯艇を遺すばかりである。而してこの附近、陸上の家といつても、多くは水に面し、若しくはマレー風に半ば水上に臨んで建てられた、所謂水上の家である。

船は、さうした陶竹を以て彩られた窓や、青綠色に塗られた雕板の下を行くので、一風變つた水郷の味を洩むことが出来る。

荔枝は、この地方一帯即ち南方支那海の沿岸には到るところ産出する果實であるが、本國は福州附近に於ける荔枝をひさぐ女である。

その笠は別として、その荔枝を入れた竹籠といひ、その量器といひ、その擔ふ竹棒といひ、その風俗はいかにも我が國の一地方のそれとそつくりである。



### 可愛山陵

國風會副會長 江藤 哲 二 述

陸奥國陸奥郡水引村大字宮内に一山あり、可愛山といふ、龜の形をしてゐるので、龜山とも稱してゐる。高さ六十間、周圍一里餘、石階を登ること三百九十段、古松老杉の間に一つの祠がある。新田宮といふ。寶曆三間、横五間ばかり、其下地切石を以て疊んである。

是れ即ち天孫天彥火瓊杵尊を祀り奉る所にして、此の祠宇の在る所、實に尊を弼り奉れる可愛山陵である。

新田宮はもと山腹に在つたのであるが、承安三年、之れを山上に遷し奉つたものである。

尊、高千穂峰に天降らせ給ひ、菅田の長屋の笠狭の御崎へ幸し給ひ皇居を其のあたりに造りて在します、笠狭の御崎といふのは、今の薩摩國川邊郡加世田港のあたりが夫れである。

稜威彌や高し、誰れか歸服し奉つらざるものあらん、國主事藤原國長長狭出て迎へ奉る。尊、延き見て問はせらる、やう——「こゝは誰が國ぞ」——

長狭謹みて答へ奉る——「かく申す長狭の國にて候、今君に獻つるべし」——

此地、山崎ち、海濶く、眼に入る風光畫の如し、尊、深く愛して留まり住ませ給ふ。

一日、海濱に出でまし給ふに、一人の乙女そこに在り、尊過み寄りて問はせ給ふ、「誰が女ぞ、名をば何と申す」

乙女早くも天孫なりと知りて、いと懇懇に答へまつる、「大山祇命の女、木華間耶麻と申し侍る」

實にや麗麗花の如し、尊即ち大山祇命に仰せ下し、簪を容れて妃となし給ふ。三人の皇子を挙げさせ給ふ。火照命、火間命、火折命とぞ命つけ給ふ。火折命こそ彦火々出見尊にて在します。

尊、西偏に在しませども、稜威到らぬ限もあらず、終に殘賊を夷げ、豊原中國を平定させ給ひ、壽を以て崩じ給ふ。乃ち可愛山陵に葬し奉る。

禁複製轉載

國風會藏版



### チューリップの花盛り

國風會編輯 小形青村述

和蘭の諺に「神は海を造り、和蘭人は陸を造る」と、水と戦ひ、新陸地を要求すること切なる本國に於ては、年々埋立工事をなすに巨額の費用と多大の勢力とを投じてゐる。その中でも有名なるはアムステルダム、レイデン、ハーレム三府の間にあるハーレム湖で、その面積約七十二方哩、水深十五尺を有せしものであるが、歴々氾濫の害があつたので、一千萬圓の費用を投じて排水の大事を營み、之れを新陸地としたが、この新陸地面の買價は八百萬圓に上つたといふ。

國內の大部は農耕に適せず、砂地瘠土なる荒蕪の地はその四割五分を占め、一割八分は沼澤だから、農耕地として僅かに残り三割四分の土地があるのみだ。されど地勢低平にして、海水の沈澱物或は河流の運び来る沃土であるから、地味良好、農業園藝は比較的盛に行はれ、ポルダー並にホルランド（窪地）に於ては耕作業著しく進歩し、蔬菜の輸出一億圓、花卉類二千五百萬圓に上り、珍花奇卉の見るべきものがある。

和蘭は、一帯に物産かな美しい國であるが、殊にライデンの附近は藝術の都、花の都の稱に背かない。それは有名なレムブラントをはじめ、十數の大畫家が、から輩出したのにも知られるが、讀んでたへた水に古びた木橋が架つて、こんもりした老樹の上に、ぬつと大きな風車がのぞいてゐる景観の如きは、市街がそのまゝの繪画である。

無論、ほのかに蔭つた商店に入つて、まづ眼をひくのは蕪華の蕾のやうに大きな、そしてみづみづしいチューリップの花、蕪高い薔薇、カーネーション等々まことにゆたかなる花の都である。

とにかくライデン、ハーレム、ユトレヒトの間は世界の草花の大部分を産するといつてよい花また花の曠野である。四、五月の花季にこの野を乗物で過ぎると、見はるかす限りつぎからつぎへ文字通りの花毛氈で、チューリップ、ヒヤシンスその他の花が、一面に見事に咲きみち、車も客も腹都たる花のかをりにむせるのである。

禁複製轉載

外務省 編 版



勝景隨一、鼓山の湧泉禪寺

國風會編輯 小形青村述

福州の二大産業は茶と木材であつて、福建省に於ける二大製茶地は北には建寧があり、東には福安がある。曾ては杉の良材が多量に支那の北部及び南部に送り出されたが、濫伐の結果として現今閩江を下る木材は概して小さなものとなつて了つた。耕作は廣く行はれ、溪間より山腹に至るまで荷しくも用ゆべき土地は寸土も空しくせざるの概がある。

それにも拘らず、米其他の穀類の産額は此の地方の入口を支えるに足りないので、年々多額の輸入を受けてゐる。

果樹の栽培も廣く行はれ、閩江からは多量の漁獲があるが、尙ほ北部地方から多量の鹽魚が輸入せられてゐる。

福州の南隅には于山がある。往昔九人の兄弟が此の山上にて羽化登仙したといふ傳説から一名九仙山とも呼ばれてゐる。山上には數多の寺院がある。越王山は市の北隅にあるもので頂上には莊大な觀海樓がある。

福州の市外半哩には二つの温泉がある。温泉は證明で皮膚病に特效があるといはれて居るが、設備はあまり完全ではない。

市街の西南三哩にして西禪寺がある。有名な大寺院で、多數の參詣者がある。寺院は精進料理を以て有名で、一般の需に應ずる設備があつて、多くの食道樂の集まる所となつてゐる。

本園は鼓山の湧泉禪寺の堂であるが、この山は海拔二千八百呎、福州より閩江の流れを溯ると、群山を抜いて遙かに其の優雅な頂が望まれる。殊に朝露に包まれた姿は得もいはいれない。

樹立の間からは湧泉禪寺が隱見して、山麓には美しい急流が岩を噴んで繞つてゐる。夏季は登山者が非常に多い。山上には湧泉禪寺の外にも深さ二十呎の靈源洞、國師巖等がある。湧泉禪寺は規模の宏大、建築の技巧、共に福建省第一の勝地と稱されて居る。

禁複製轉載

外務省藏版



### 馬尾港の全景

閩風會副會長 江 蘇 哲 二 述

福州より北方七十哩、三都島は三都澳の中央を占め、島上には三都の條約港がある。人口一萬二千、往時は福建省の製茶は先づ此地を経て福州に送られたものである。

興化は、福州の南方海上百哩、陸路八十哩の地點にある港で、福州からは毎週定期船が出る。輸入品は米、大豆、綿糸、燐寸、石油等で、輸出にはいふべきものがない。厦門と共に苦力の海外供給地として有名である。

厦門は福州より海路百二十九哩、福建省の南岸にあつて、我が臺灣と相對してゐる。支那に於ける最古の條約港の一つであつて、市街は二つの部分より成つて居る。即ち一つは本来の支那人町で、外人は之れを厦門市と呼び、厦門島にある。他は國際居留地で、半哩を隔てた鼓浪島にある。曾ては宋朝の壇の浦となり、更に鄭成功の明朝復興運動の中心となつた所で、一八四一年の阿片戦争には英軍の占領する所となり、戦後の南京條約によりて開港場となつたものだ。

本圖は馬尾港の全景であるが、南臺より閩江を下ること九哩の所にあり、福州の外港にして山岳四周、天然の障壁を爲し、港内水深く、大船を容れることが出来る。

江の中央に羅星塔島があるので、外人はバゴダ・アンカレザと呼んでゐる。こゝには馬尾船政局（造船所）、水師學堂がある。支那南部に於ける樞要の地であるから、砲臺の設けがある。

福建艦隊の根據地であつて、一八八五年即ち明治十八年、清佛戦争に、清國艦隊が佛國クルルベール提督の率ゐる水雷艇のために撃沈された所である。

北京へ陸路六千三百三十三清里、上海へ海路四百三十哩、厦門へ二百五哩、寧波へ二百九十哩、淡水へ百三十七哩、湖島へは百九十哩、基隆へ百五十哩である。

禁複製轉載

外務省藏版

# 終